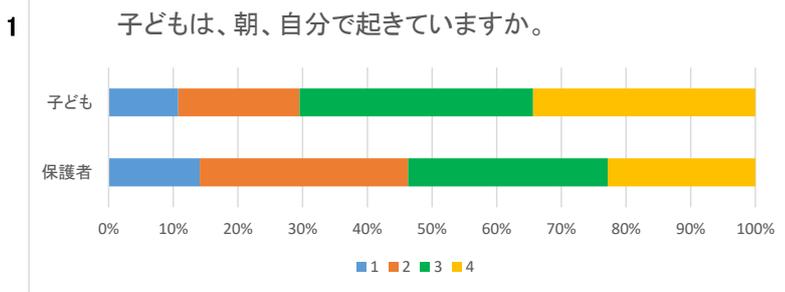


# 令和7年度学校評価アンケート分析

合志市立合志小学校

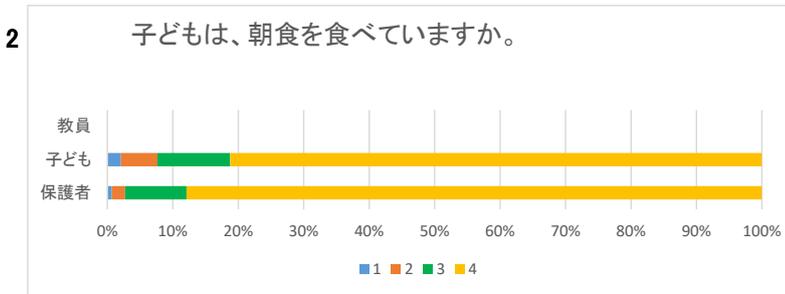


○: 成果、●: 課題



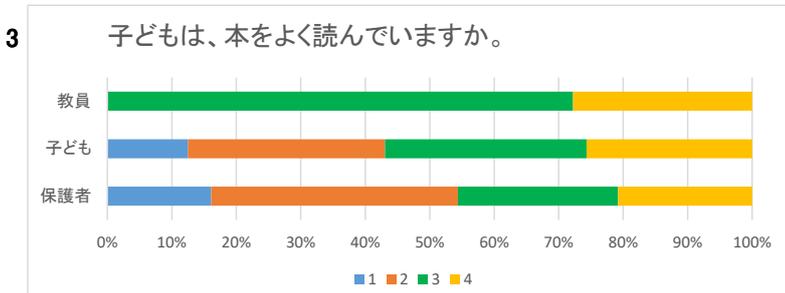
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度:53.7% (昨年度:50.8%)**

●保護者の回答から、朝、自分で起きることができている子供は半数程度であることがわかる。Myプロジェクトの一つである「自分で起きる」ことについては、学級通信や保健だより等で啓発するとともに、児童が自分で生活の仕方を意識できるように繰り返し伝える機会を設ける。



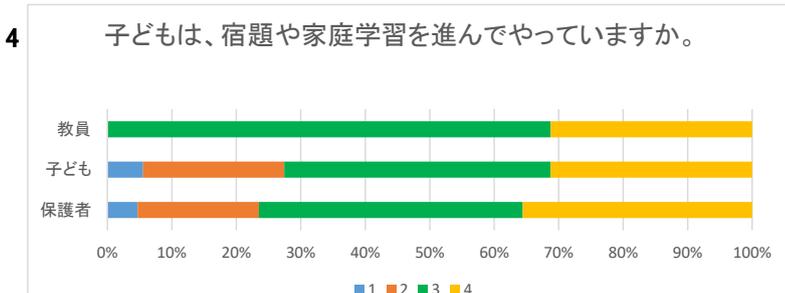
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度:97.3% (昨年度:94.0%)**

○多くの家庭で朝食を食べる習慣があることが分かる。Myプロジェクトの一つとして啓発したことにより、朝食の大切さが認知されたと考え。食べてこない児童は、やはり学習に集中できない、遅刻・欠席が多い傾向にある。今後も朝食を食べることの重要性を保護者に伝え続けていく。



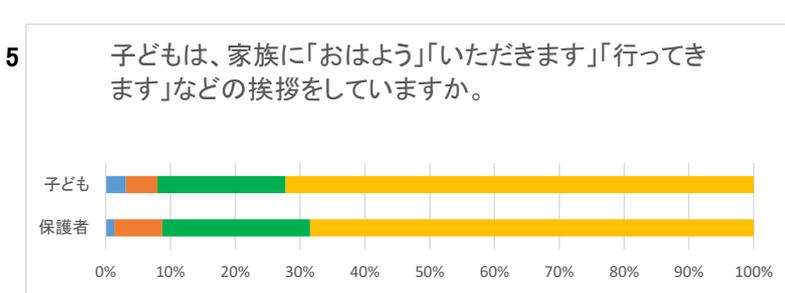
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度:45.6% (昨年度:96.2%)**

●昨年度に比べ、保護者の評価は大きく落ちた。学校では毎週1回図書時間を設定していることに加え、どんちゃん号の活用や読み聞かせボランティア等の取組が子どもの読書習慣につながっていると考える。今後は、週末の読書の推奨など働きかけを工夫していく必要がある。



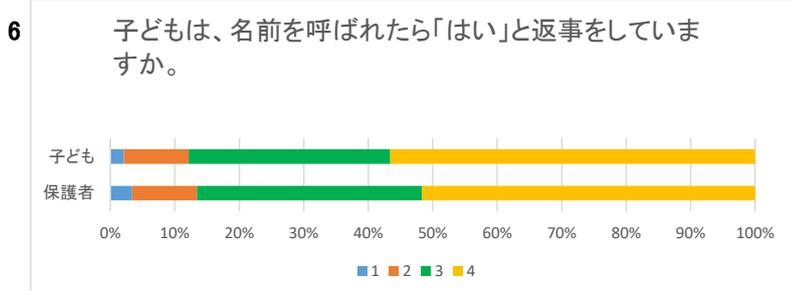
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度:76.5% (昨年度:54.6%)**

○昨年度に比べ、学校から提示する学習課題を家庭で取り組む習慣が身についた子どもが一定数いることが分かる。学校では、徹底した指導と丁寧なチェック体制を整えるとともに、個別プリントを準備するなど、個に応じた学習内容に取り組みさせる。今後は、さらなる学習習慣の定着のために、授業内容とリンクし、復習や予習を中心とした内容も検討していく必要があると考える。



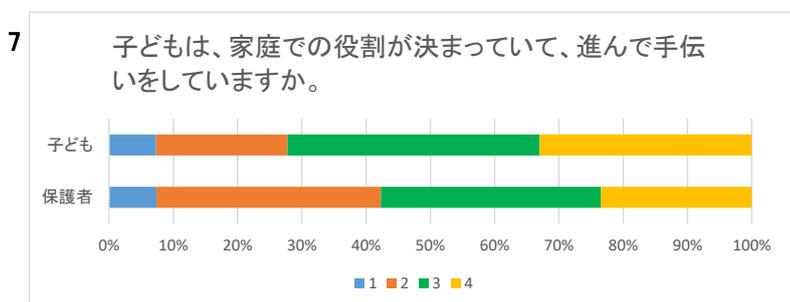
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度:91.3% (昨年度:71.5%)**

○学校において、挨拶の大切さについては、先語後礼を推奨するなど学校総体として取り組んでいる。また、PTAや地域の方に挨拶運動をしていただいた結果、子どもにも挨拶の習慣が身についてきていると考える。今後は、学校だより等を通じて、家庭や地域に啓発するとともに、連携しながらその大切さを伝え続けていく。



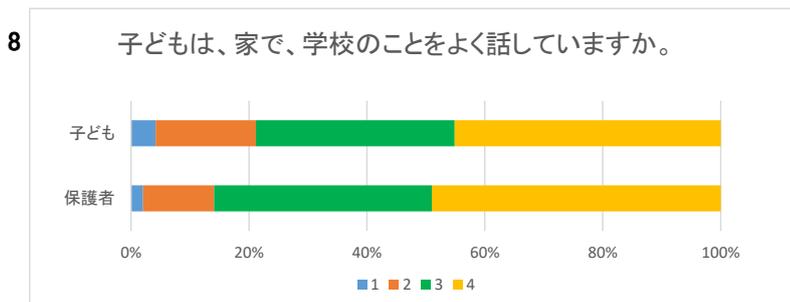
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度86.6% (昨年度:91.5%)**

●多くの子どもと保護者が肯定的に捉えているが、1割程度の子どものみでできていない現状にある。すべての子どもが返事をするように、普段の学校生活でも徹底して指導し、習慣化を図れるよう学校でも粘り強く指導していく必要がある。



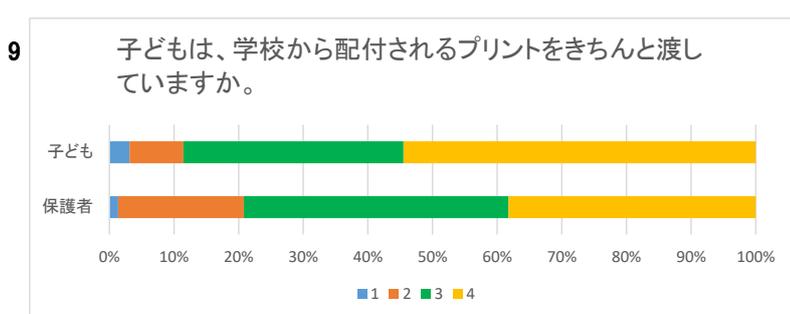
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度57.7% (昨年度:86.2%)**

●Homeプロジェクトの一つであるが、現状では6割程度に留まっている。手伝いの取組については、子どもの日記等を通じて評価をするとともに、学校だよりや学級通信等を通じてHomeプロジェクトの推進を図る。



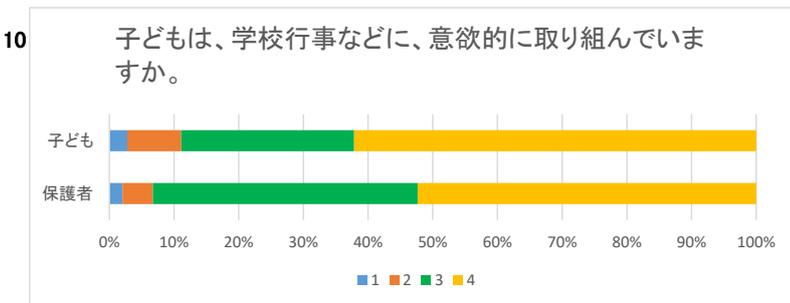
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度85.9% (昨年度:68.5%)**

○学級通信等を通じて学校での取組や行事等について家庭へお知らせしてきた。また、メディアコントロールデーの取組として、家族との団らんを推奨したことも一因となっていると推測する。今後も、学校便りや学校ホームページを活用し、学校での取組を積極的に紹介していく。



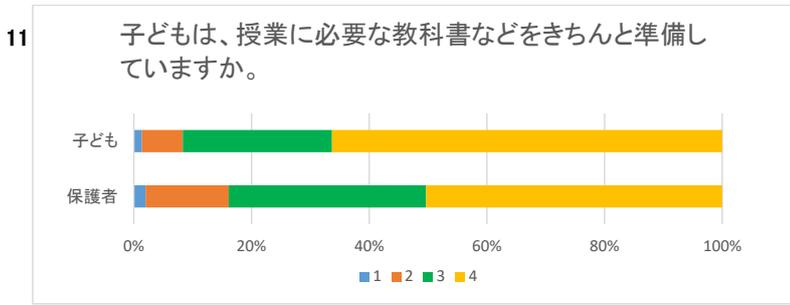
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度79.2% (昨年度:82.3%)**

○安心メールや学校ホームページを活用し、保護者へ直接届けるようにしている。これらの取組は、ペーパーレス化につながることも、教員の業務負担軽減にもつながると考えているため、今後も活用場を増やしていきたい。



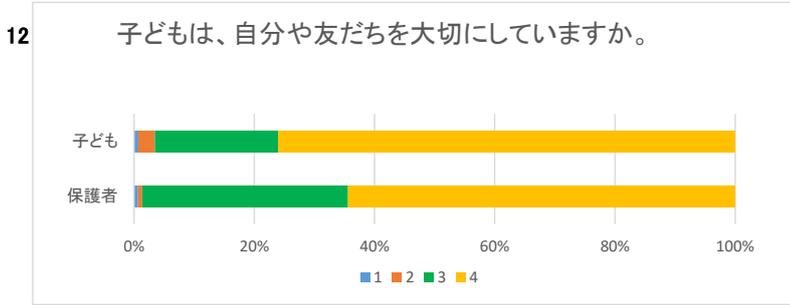
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度93.3% (昨年度:76.9%)**

○運動会や持久走記録会などの行事では、全校で「自信貯金」の取組を行った。その結果、自分の目標をもち、努力しようとする前向きな子どもが増えたと考える。また、持久走記録会では、今年度より自分でコースを選択できるようにしたことで、主体的に参加する児童が増えたと考える。



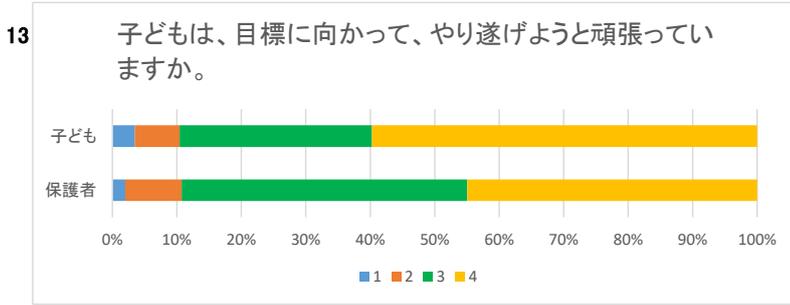
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：83.9%（昨年度：91.5%）**

●KOSHI体の一つであるこの取組は、学校全体で共通して取り組んだこともあり、子どもの意識を高めることにつながっていると考える。しかし、家庭での学習準備が十分ではない場合があるため、今後も発達段階に応じた指導や支援を行い、「自分のことは自分でやる」ことの習慣化を図っていく。



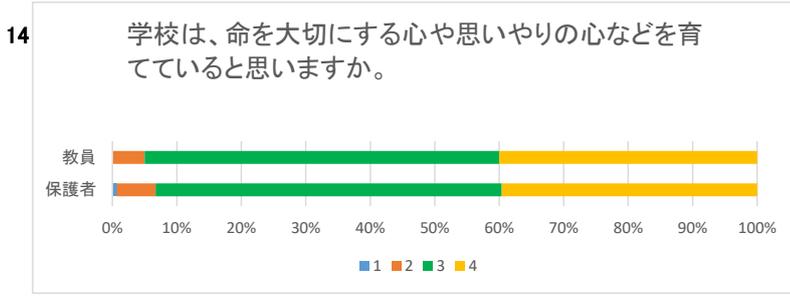
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：98.7%（昨年度：86.2%）**

○人権学習や道徳教育をはじめ、心のアンケートや教育相談、帰りの会での相互評価などの取組による成果であると考えている。今後はさらに個別対応や交流活動の充実を図り、より多くの人と関わる機会を設ける。



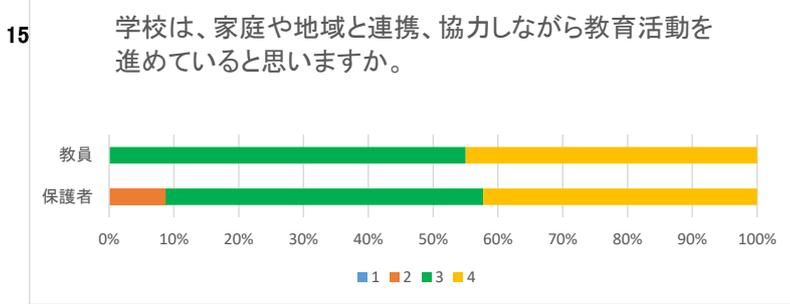
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：89.3%（昨年度：99.2%）**

○儀式的行事や全校集会など、学校教育目標を子どもと共有する場面を多く設定したことで、子どもの中にも「目標」に向かって「努力」や「挑戦」をすることの大切さが定着したと考える。また、行事等において「自信貯金」の取組により、自分の成長をふり返る姿ややり遂げようとする姿が見られた。



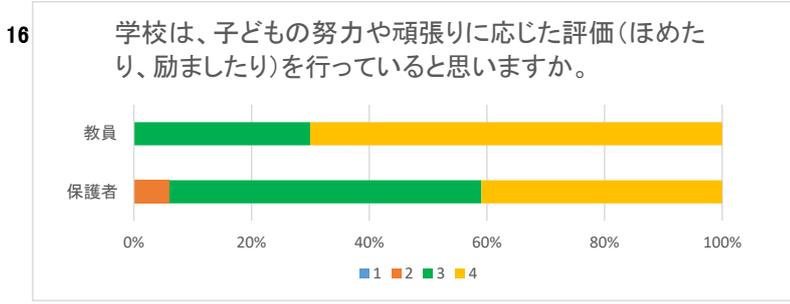
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：93.3%（昨年度：90%）**

○特別の教科である道徳を中心とし、命を大切にする心や思いやりの心を育むことができた。6年生の平和学習をはじめ、5年生の水俣学習や恵楓園学習など、命について学ぶ様々な機会を設定することができた。



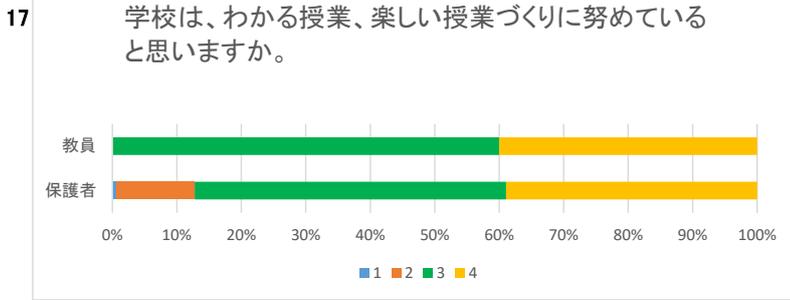
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：91.3%（昨年度：90.8%）**

○本校の校区には、地域に根差した伝統行事等が多数存在する。そこで、地域学校協働活動推進員を中心として、関係団体等と連携を図りながら、教育活動を展開することができた。今後は、祭りに子どもたちが参画するなどの地域貢献活動を推進していく。



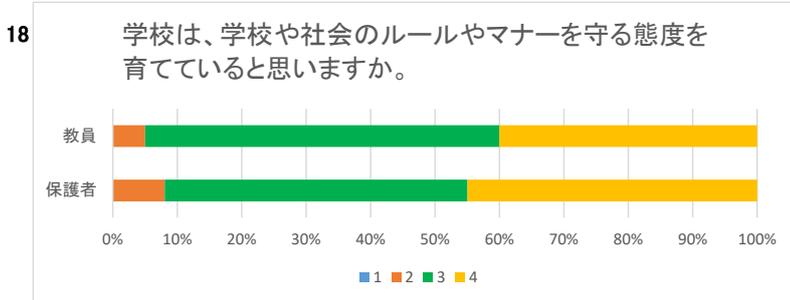
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：94%（昨年度：89.2%）**

○毎週火曜日に実施している朝活動「ハートフルタイム」や、帰りの会における「今日のきらりさん」紹介など、子どもの姿を教師だけでなく、子ども同士が評価する取組を充実させてきた。今後も引き続き、職員が一人一人に寄り添いながら、子どもの自己肯定感を高めていきたい。



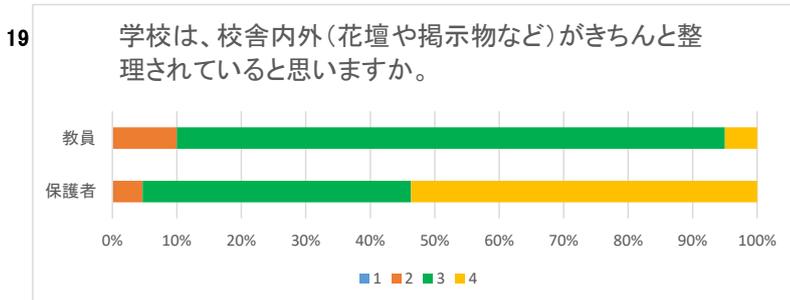
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：87.2% (昨年度：92.3%)**

●校内研修を通して、すべての子供の基礎基本が定着する授業づくりについて共通理解し、共通実践に取り組んできた。正答率40%以下の児童が大幅に減少したことは成果であるが、基礎的な学習内容が十分に定着していない児童がいることが引き続きの課題である。今後も職員一人一人の教材研究の力や指導技術の向上を目指し、取組を進めていく。



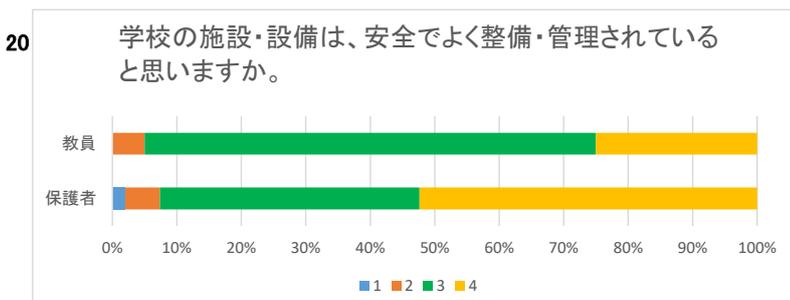
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：91.9% (昨年度：88.5%)**

○昨年度に比べ、3.4%数値が向上した。これは、すべての職員が同じ指導ができるよう組織的対応を心掛けてきた成果であると考え。今後も道徳の授業を中心として、社会のルール・マナーを遵守することについて考え、実践を図っていく。



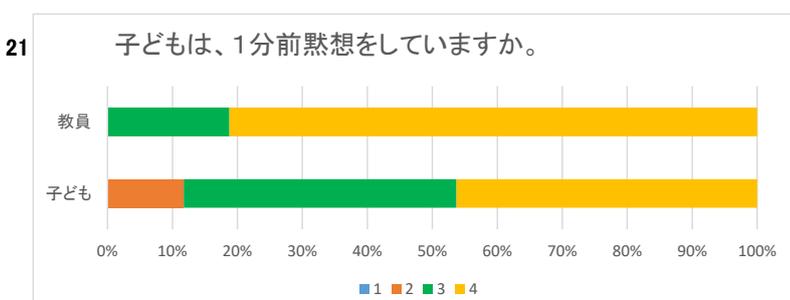
**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：95.3% (昨年度：90.8%)**

○今年度から掃除時間を5分間伸ばしたことに加え、高学年を中心に無言掃除に取り組んできた成果である。また、花壇や学級園の手入れについても全校で取り組んでいく。



**【保護者 4・3評価】**  
**本年度：92.6% (昨年度：92.3%)**

○毎月の安全点検を確実に実施することに加え、学校事故等の情報に応じて緊急点検を実施するなど、担当者を中心に全職員で危機管理の徹底を図っている。今後も全職員で定期的に点検し、確実に整備・管理を行っていく。



**【児童 4・3評価】**  
**本年度：88.3% (昨年度：85.4%)**

○昨年度に比べ、2.9%向上した。これは、研究部が主体となって手本となる子どもの姿を動画に撮り、それを全校で視聴することにより、共通認識が図られ、学校総体として取り組むことができたことによるものである。今後は、1分前黙想を確実に実行できるよう具体的な行動指標を作成していく必要がある。